

## 環境科学研究センターを拠点とした環境教育の実施状況

### 1 環境学習に係る講師派遣の状況

環境教育・学習の機会を県内に広げ、環境保全についての理解と認識を深めるため、学校、公民館、中小企業、住民団体等が行う、環境に関する講演会・学習会等に講師を派遣する事業を行っている。

#### (1) 山形県環境アドバイザー等の派遣

環境に関する専門分野で特に優れた知識、経験及び技術を有する学識経験者、専門家等を山形県環境アドバイザーとして委嘱し、講演や学習会等へ講師として派遣する。

年度	平成28	平成29	平成30
回数	32	23	18

※9月末現在

#### (2) 山形県地球温暖化防止活動推進員の派遣

地球温暖化に関する知識を有し、知識の普及や防止活動の推進のために県が委嘱した推進員を、学習会や環境イベント等における工作等の講師として派遣する。

年度	平成28	平成29	平成30
回数	45	45	30

※9月末現在

#### (3) 職員による環境教室（出前講座）

環境全般、環境行政等に関する幅広い分野について、センター職員やNPO法人の職員を所内または出前で行う環境教室へ講師として派遣する。

年度	平成28	平成29	平成30
回数	45	68	62

※9月末現在

#### (4) 環境学習プログラムによる教室

平成29年度に作成した3テーマの環境学習プログラムを、主に小学生を対象とした環境教室において積極的に活用する。

年度	平成30
回数	12

※9月末現在

#### (5) 水生生物調査

川にすむ水生生物を観察することにより身近な河川の水質の状況を調査する「水生生物調査」について、県内の小・中学校、高校、一般県民などに参加を呼びかけるとともに、調査方法の指導や調査に必要な資器材の貸出しを行う。また、「水生生物調査」の結果をとりまとめ「河川水質マップ」を作成し配布する。

年度	平成28	平成29	平成30
人数	1,407	1,344	1,900 (見込)

※H30 集計中

## 2 施設利用状況

県民にセンターの施設・設備を開放し、セミナー室での研修会、自然情報棟での自主学習、太陽光発電設備の見学などで利用していただいている。

また、環境月間（6月）に合わせ施設を一般開放するイベント「親子で楽しむ環境科学体験デー」を開催している。

年度	平成28	平成29	平成30	
利用者数	1,568	1,517	885	※9月末現在
うち体験デー	364	436	333	

※平成30年度は「さくらんぼ祭り」日程との重なりを避け、7月に開催

## 3 環境相談、情報提供・収集の状況

環境に関する相談に応じるとともに、市町村や各種団体への電話や訪問により、センターが実施する環境学習内容の周知を行っている。

年度	平成28	平成29	平成30	
相談回数	10	13	2	※9月末現在
提供・収集回数	29	103	57	

なお、例年の周知文書発送先に加え、平成29年度から放課後児童クラブ（296箇所）に対しても文書発送しセンターの周知を図った。

## 4 環境情報の発信

県内の環境行政に関する情報提供やセンターでの業務内容等を定期的に紹介する「環研センターNEWS」の発行やタイムリーかつ広範に発信できる「つなぐ環境やまがた通信ブログ」やツイッターなどのSNSを活用して情報発信している。

また、本年5月には県政広報番組「サンデー5」でセンターの業務を紹介した。

年度	平成28	平成29	平成30	
環研センターNEWS発行回数	4	4	2	※9月末現在
ブログ掲載回数	3	26	20	

### ◎課題

- センターへ来所しての施設利用数や、図書・パネル等の貸出し数の増
- 環境学習支援団体等、県内の環境教育実践団体の情報収集及び連携強化

### ◎対応

- 教育委員会、学校、市町村環境所管課等への周知文書や資料の送付と、直接訪問による周知を継続して行うとともに、依頼者からの様々な相談に応じながら、環境学習方法の提案や派遣事業の活用を促していく。パネル貸出しについては、環境週間の前に市町村等へ呼びかけを行う。
- 環境学習支援団体の認定更新時にあわせて環境企画課とともに現地調査を行うなどし、提供する環境学習の詳細な内容把握を行う。また、センターとの連携について協力依頼を行う。